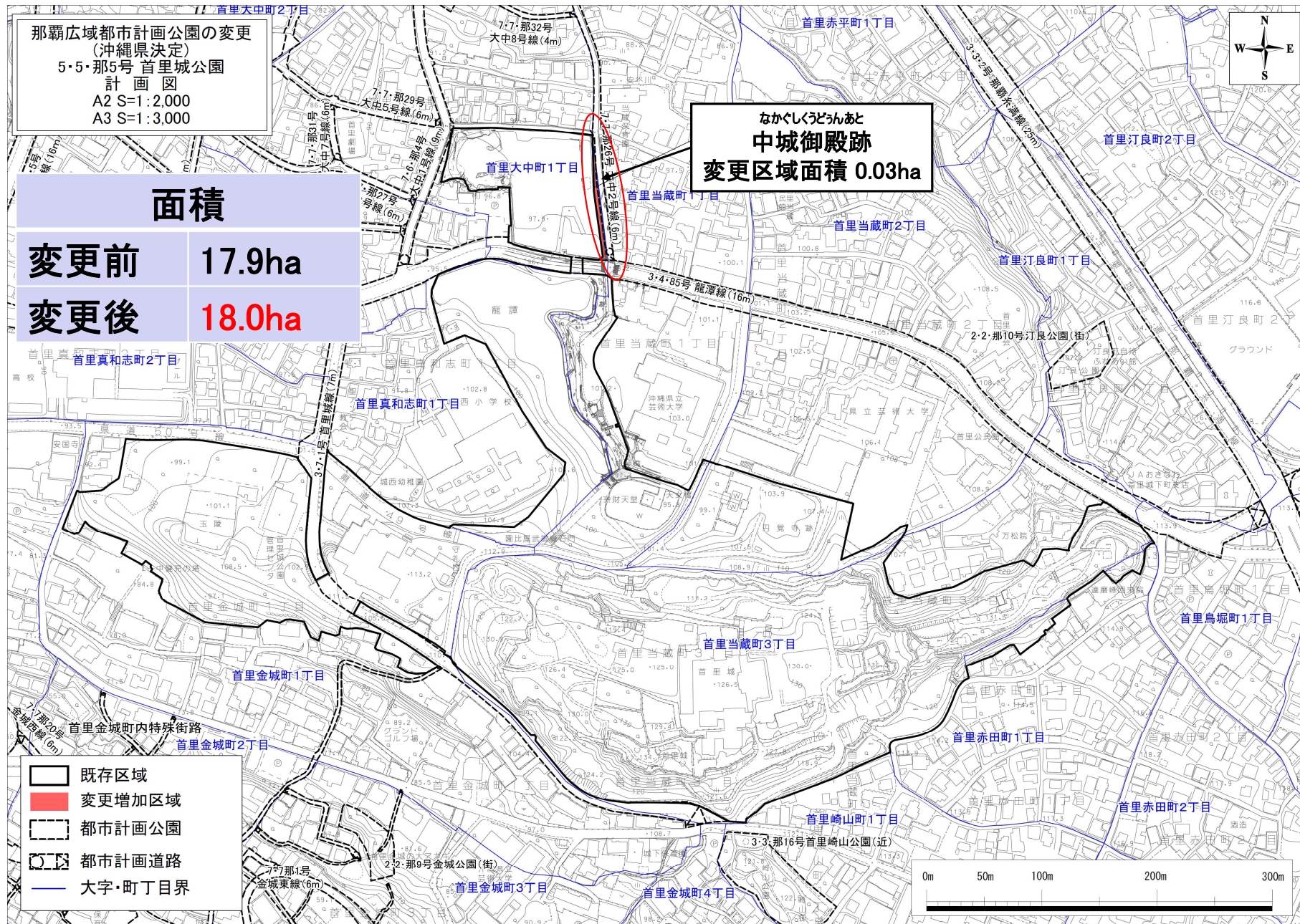


2-2 都市計画変更案の変更箇所（計画図）



2-3 計画の策定経緯

首里城公園は昭和62年度（1987年度）都市計画決定された後、中城御殿跡・松崎馬場跡区域については、以下の通り計画策定を行っておりました。

■ 計画の策定経緯

昭和62年度 首里城公園基本設計

平成7年度 首里城公園整備計画

平成18～19年度 首里城公園調査測量業務

平成19年3月 敷地内の県立博物館が新都心へ移転のため閉館

平成22年度 中城御殿跡地整備検討業務【基本構想】

平成23年度 中城御殿跡地整備検討業務【基本計画】

平成24年度 中城御殿跡地整備検討業務【表御殿東側エリア】

平成25年度 中城御殿跡地整備検討業務【表御殿西側エリア】

平成26年度 中城御殿跡地整備検討業務【特別展示エリア、上之御殿エリア】



2-4 首里城火災後の検討経緯

令和元年10月31日に首里城火災が発生し、それ以降は以下のとおり検討を進めています。

■ 首里城火災後の検討経緯

令和元年12月 「首里城復興の基本的考え方」発表

令和2年4月 「首里城復興基本方針」策定

令和3年3月 「首里城復興基本計画」策定

○首里城復興推進本部会議

令和4年3月 「中城御殿跡地整備基本計画（令和3年度改定版）」策定

○中城御殿跡地整備基本計画検討委員会

○中城御殿跡地整備検討委員会

令和4年4月 「首里杜地区整備基本計画」策定

○首里杜地区整備基本計画検討委員会

令和4年5月 「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に位置づけ

首里城公園の変更（案）について

1. 都市計画の概要

2. 首里城公園の変更の位置、検討経緯

3. 中城御殿跡の整備概要

4. 都市計画の経緯と変更内容（案）

5. 都市計画変更に向けた手続き

3-1 中城御殿跡の概要

「中城御殿跡地整備基本計画」(R4.3月) ～中城御殿跡の目指すべき姿～

- ① 周辺施設の首里城や円覚寺跡、松崎馬場などと一体的な整備を行うことで、歴史的風致景観の創出や首里城公園全体の魅力向上を図ります。
- ② 体験学習施設（社会教育施設）を整備することで、首里城及び琉球の歴史・文化の体験学習、展示、講座、交流などの教育普及の場となります。
- ③ 首里のまちの拠点施設として、首里に関連する歴史・文化を体験紹介する場の創出と、地域における伝統文化の継承促進及び愛着や誇りの醸成、地域への周遊促進などに寄与する。

■中城御殿の役割

①首里城公園全体の魅力向上 (歴史的風致景観の創出)

- 城郭内にあった美術工芸品やその他資料の展示・収蔵
- 歴史的風致景観の連続性や公園全体の回遊性の確保
- 公園利用者へのサービス向上と満足度向上
- 首里城への眺望景観の確保

②琉球の歴史・文化の体験学習 (展示・体験・講座・交流)

- 王家ゆかりの屋敷である琉球建築・庭園の体験
- 首里城に象徴される琉球の歴史や文化を体感できる物語性のある展示
- 琉球の歴史・文化の発信・体験・学習・継承

③首里のまちの拠点施設 (まちの紹介、文化継承・周遊)

- 首里城公園の案内、情報発信(首里城、中城御殿、円覚寺他)
- 地域文化の体験、継承の場
- 地域の人々と来訪者の交流の場、地域への周遊拠点

■主な展示予定資料

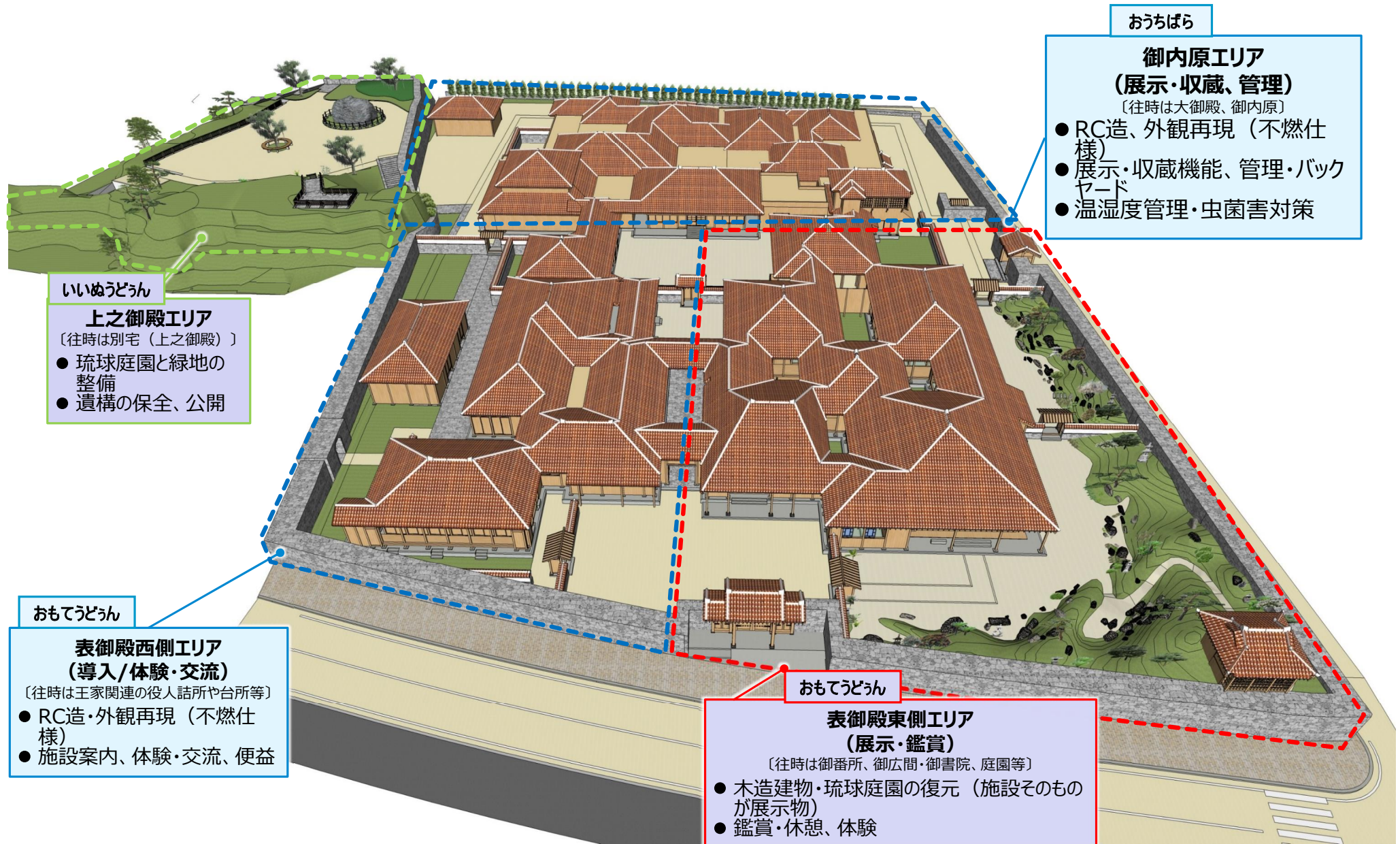
火災前、首里城城郭内で展示・収蔵していた美術工芸品等



国宝・琉球国王尚家関係資料(那覇市所有)



3-2 中城御殿跡のイメージ図



首里城公園の変更（案）について

1. 都市計画の概要
2. 首里城公園の変更の位置、検討経緯
3. 中城御殿跡の整備概要
4. 都市計画の経緯と変更内容（案）
5. 都市計画変更に向けた手続き

3-3 都市計画の決定の経緯（中城御殿跡）

昭和31年に、龍潭公園が都市計画決定されました。当時は中城御殿跡は含まれていません。

